

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年5月10日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3970101675
法人名	有限会社 ヴィラドンナ
事業所名	グループホーム ステラ
所在地	〒780-8010 高知県高知市棧橋通5丁目6-12 ステラ棧橋1F
自己評価作成日	平成22年1月28日
評価結果市町村受理日	平成22年5月18日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成22年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970101675&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=3970101675&amp;SCD=320</a>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

その人らしい生活を送れるように、個々に応じた職員全員によるチームケアを目指しています。また、栄養補助食品等を導入し食事の質の向上を心がけています。地域貢献では、ヘルパー2級養成の実習やボランティアの受入を積極的に行い、災害等の備えとして、担当者を決め、地域と協働して取り組む体制もできています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、高齢者優良賃貸住宅の1階にあり、事業所全体の印象も明るく、近くの宅老所で開催される「いきいき百歳体操」の参加者とも交流し、利用者は、笑顔で和やかに暮らしている。事業所が交通量の多い道路に面しているため、職員は日頃から利用者の安全確保に気配りし、利用者一人ひとりに寄り添い、排泄の自立支援や運動機能訓練を通じて、利用者の生活機能の維持を図っている。災害対策としては、地域の自主防災会に参加したり、高齢者優良賃貸住宅の入居者と協働で避難訓練をしている。今後も地域住民との交流や、家庭的な雰囲気でのサービス提供などの運営に期待がもてる事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念に地域との交流を掲げており、理念を玄関等に掲示し、周知の徹底を図っている。介護サービスや生活環境作りが理念に沿ったものであるか月2回のミーティングには職員全体で話し合い、具体的なケアについて意識統一を図っている。	事業所独自の理念があり、毎月2回の職員会で、理念に沿ったサービスや支援内容であるかを振り返り、利用者がその人らしい生活ができるケアの実践に努めている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日々の散歩やゴミだしの折には、近隣住人と挨拶を交わしたり話している。また、宅老所に、いきいき百歳体操やお茶を楽しみに出かけた。八百屋やパン屋、鮮魚の行商等も利用している。買い物にはサニーマートやブリコ等へ行き地域の方々のコミュニケーションを図っている。	散歩時などに地域の方に気軽に挨拶し合い、近くの宅老所でいきいき百歳体操や参加者と交流している。また、地域の防災会に加入し会議に出席するなど、事業所として地域に溶け込んでいくように努めている。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ヘルパー2級の実習生を受け入れるなど人材育成に貢献している。また、認知症介護相談やホーム見学の受け入れのほか、家族の方の介護の困りごとや、利用できるサービス等の支援もしている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の現状や取り組み、地域資源の活用等について意見交換し、事業所のサービスの質の向上に努めている。また運営推進会議の結果をミーティング時において報告及び検討をしている。	事業所から運営状況や評価結果について報告し、参加メンバーから意見、提案等が出され、双方向的な会議になっている。会議の内容について職員間で共有し、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>事業を行っていく上で生じる運営等の課題について助言を頂いている。また、運営推進会議にも出席いただいて、協力関係を継続できるように心掛けている。</p>	<p>日頃から、市の担当課、地域包括支援センターに制度や運営面に関することを相談したり、情報を収集している。また、運営推進会議を通じて事業所へのアドバイス等を受けている。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>代表者及び全スタッフは、鍵をかける事の弊害を理解しており、緊急時以外は鍵をかけていない。不穏状態になった場合は、スタッフが同行し気持ちを汲み取るよう心掛けている。また、身体拘束は人権侵害であることをスタッフは理解し、言葉の行動制止を防ぐよう声掛けに配慮するなど、取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する講習会に出席し、職員に伝達するとともにマニュアルを周知し、言葉による拘束がないよう職員同士で注意しあっている。日中玄関には施錠せず、利用者の外出傾向等を把握し、外出した時は同行することなどで見守り支援している。施錠しないことのリスクについて家族に説明し、無断外出等が生じた場合は速やかに家族に連絡している。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止の講習へ参加し、ミーティングにおいて報告、検討しスタッフ全員が高齢者虐待防止法に関する理解を深め、虐待が見過ごされることがないように努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>権利擁護制度の利用事例はないが、該当があれば対応できるよう、制度は理解している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容について時間をとり丁寧に説明し、何でも相談していただける雰囲気作りを心掛けている。家族の不安や要望を聞き、個別援助計画を提示し、その他のサービスについても了解を得た上で契約を締結している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	下駄箱の上に意見箱を設置し、運営推進会議等においても意見や要望を出していただけるようにしている。また、来所時には、意見等を尋ねている。	家族の来訪時や、運営推進会議の家族代表から意見等を聞いている。意見箱を設置しているが、苦情等はない。なお、家族会は設置されていない。	事業所の運営には家族の意見を反映させることが重要であり、家族は身内が世話になっていることから意見を言い出し難いことを理解し、家族同士が懇談できる機会をつくること等を、検討することを期待したい。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月2回のミーティングや勉強会等で意見や提案を検討している。また、日頃から意見や提案を出してもらえる雰囲気作りが出来ている。	職員会や打ち合わせなど会合の機会に職員の意見や提案を聞くようにしている。無断外出への対応や休憩時間の取り方、昼食のバイキング方式などについて提案があり、業務に活かしている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	向上心をもって働けるように、勤務体制等に配慮している。また、県の派遣事業を利用するなど、職場環境・条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	積極的に研修情報を提供し、推奨する研修は経費を全額負担している。また、月2回のミーティングにおいて報告会を開きスタッフ全員が内容を把握するように努めている。今年は介護技術向上のために講師を招き現場実習をしている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県のグループホーム連絡協議会に加入している。研修会に参加し関連ホームと情報交換を行っている。また、サービスの質の向上を図るべく他のホームと連携をとり参考資料や情報交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接で入居に至るまでの生活状態を聞き、把握に努め、ご本人の不安や要望を理解し受容するように努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のこれまでの介護の状況や利用者ご本人の生活歴を把握する為の時間をとり、これまでの経緯についてゆっくり聞くようにしている。そして、次の段階へとつなげるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としているサービスを出来る限り柔軟に対応できるよう努めている。ニーズに応えられない場合は、他の事業所のサービスにつなげている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支え合う関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	小規模の利点を生かし個々の特性を十分に把握し、理解に努め、できる事を多く取り入れるなど、生活能力の維持に努め眼、生きがいや役割をもってもらい、共に支え合いながら生活できるように努めている。		
19		<b>○本人と共に支え合う家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	心身の状態等変化があればその都度電話で報告をしている。来所時には、近況報告するとともに家族の思いを傾聴し、また、スタッフの思いも伝え、きめ細かい対応を心がけ、同じ思いで支えあえるように心掛けている。		
20	8	<b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人情報の保護という視点を重視しながら、親族、友人・知人の訪問を快く受け入れ、お茶等の接待もしている。馴染みの人や場所への散歩やドライブ、買い物等を取り入れ関係が途切れないように支援に努めている。	友人、知人が訪れた時は、声かけなど馴染みの関係が継続されるよう配慮している。また、かつて利用していた量販店等に出かけ、知人と会話したり、家族の協力を得て馴染みの場所に行くなど、支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<b>○利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の馴染みの関係作りを考え、共有できる時間を多く取り入れ、つながりが不和状態にならないように、和を大切に助け合う事を働きかけ、スタッフは調整役になれるように努めている。		
22		<b>○関係を断ち切らない取組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、年賀を出したりしている。また、退居後の入所先から相談を受けている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<b>○思いや意向の把握</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の表情、言動から一人ひとりの思いの把握に努めている。少しでも変化があれば、気づきをミーティング等で確認し合っている。また、家族や関係者からの情報把握にも努めている。	利用者や家族より生活習慣を聞き、散歩、料理などに活かしている。利用者の状況を多面的に把握するためにも複数職員で面接し、希望の把握に努めている。	
24		<b>○これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個人情報保護を前提として、情報提供をお願いしている。また、入居後も折にふれ、少しずつ情報を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個々の生活リズムを把握し、できる事を多く取り入れ、生活力の維持・向上に努めている。また、状況把握がスタッフ間でばらつきがないように、ミーティング等を活用し情報の共有をしている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画に沿ったサービスの提供がスタッフ間でばらつきがないようにし、日々の記録を次の介護計画に活かしている。また、本人や家族等の意向を反映させミーティング等で検討している。</p>	<p>利用者や家族の希望も聞き、日頃の職員の気づきを踏まえ、カンファレンスを行い、介護計画を作成している。3カ月毎に計画を見直し、状況の変化があった場合は、その都度見直している。退院した場合などは、医療機関の情報提供を受け、計画につなげている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルを用意し、バイタル、食事量、水分量、排泄状況、入浴など、日々の様子を記録し全職員が確認している。また、個別ファイルを介護計画の見直しや評価に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の要望があれば宅老所も利用し、高齢者優良賃貸住宅に住んでいる方々と交流を図れる環境にしている。また、利用者の変化に応じて多様なサービス提供を検討している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議には民生委員や地域包括支援センターの職員等に出席していただき、周辺情報等の情報交換、協力関係を築いている。また、ボランティアの協力もよく仰ぎ、生活の幅を広くしている。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の納得のもと、内科は月2回、心療内科は1回の往診を受けている。また、歯科や皮膚科の往診も受けている。利用者の異常発見に努め、些細な事でもご意見をいただけるようにし安全・安心を保つように心掛けている。通院介助は、家族と協力して行っている。	利用者、家族の希望するかかりつけ医への受診のほか、家族の判断で協力医療機関の往診を受けている。受診には主に家族が付き添い、結果は家族より報告を受け記録し、職員間で共有している。	
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回（水曜日）に訪問看護の定期的な健康診断を受けている。個々の状態を相談し、具体的な指導を受け、適切な医療に結びつけている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院によるダメージを少なくするため、医療機関との連携を密にして相談員や看護職等に連絡事項を書面をもって伝えている。家族と連絡をとり症状等について確認している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>医療連携加算をとるにあたって、本人や家族に終末期の意向を確認し、対応指針作成をしている。現在は対象者がいないこともあり、支援体制の協議は行っていない。</p>	<p>入居時に、看取りの対応について家族の意思を確認している。利用者の状況や家族の希望に沿って、医療関係者と連携し、事業所として取り組む体制はできている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成し、全職員に周知・徹底を図っている。スタッフは救命救急の講習を受けている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て、火災訓練を行っている。夜間想定の実施も実施しており、夜勤者1人での対応に無理があることから高齢者優良賃貸住宅の住人の方に協力してもらっている。また、地域の自主防災会にも加入し、地区の方々の理解を得られよう努めている。</p>	<p>年2回の避難訓練を実施しており、法人系列の高齢者優良賃貸住宅の利用者の協力も得ている。また、地域の自主防災会活動にも参加している。</p>	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者の尊厳保持に努め、プライバシーに関する事を他に話さない、漏らさない、対応の仕方も人前で目立たず、さりげなく行うようにしている。また、職員の意識向上に努めている。</p>	<p>利用者の誇りやプライバシーを損ねないケアを心掛けており、トイレ誘導の声かけや排泄介助などには気配りしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者個々に合わせた声掛けに努め、買い物等では好きな物を選んでもらったり、食事や飲み物等は、今何が欲しいのかを聞き、利用者が自分で決められる場面を多く取り入れている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ゆったりとした1日を過ごしていただくという視点を大切にしている。利用者一人ひとりのペースにあわせた生活リズムを作り、買い物や散歩等を行い、その人の思いや状態に配慮しながら対応している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>毎朝、洗顔、口腔ケア等の整容を行っている。更衣に時間がかかる事が多いが、先々言わないように自己決定を優先している。ボランティアの美容師が個々の希望するヘアスタイルにしている。また、外出時には希望に応じ化粧をしている。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お米をといだり、食材切りなど、調理に参加してもらっている。利用者と共に配下膳を行い、食後の片付けや台拭き、食器洗い等の役割も持ってもらっている。職員は利用者と同じテーブルで食事を取っている。</p>	<p>利用者と職員は同じテーブルで和やかで楽しい時間を過ごしている。調理から片付けなど、利用者は能力に応じた様々な役割を担っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録し、スタッフ間で情報を共有している。また、栄養補助食品を導入し、食事の質の向上に努めている。また、摂取量が低下した時は、本人の好みの物を取り入れたりしている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けをしチェック表に記録している。利用者の力に応じて見守りや介助を行っている。就寝時には義歯の方は義歯洗浄剤を使用し清潔を保つようにしている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いて利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するように努めている。失禁し易い利用者にはトイレの声掛けや誘導を行い、トイレでの排泄を促すようにし、排泄行為の習慣化に向けて取り組んでいる。	利用者の排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄するよう声かけ誘導を行い、失禁防止に努めている。紙パンツから布パンツの利用へと、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い、自然排便が出来るように、乳製品や繊維質の多い食材を取り入れたり、ブルーベリーや寒天ゼリー、ふかし芋を日常的に提供している。また、運動の必要性を考慮し、体操や散歩を個々に応じ行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>利用者の希望があれば毎日でも入浴できる態勢をつくっている。</p>	<p>利用者の希望に沿って、午後の時間帯に入浴支援をしている。毎日または隔日に入浴しており、拒否する利用者はいない。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>その日の個々の心身状態にあった休息の取り方を自由に過ごせるようにしている。個々の睡眠リズムを大切にしながらも、1日中だらだら傾眠状態にならないように努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬ファイルで職員が内容を把握出来るようにしている。服薬管理は毎回注意し内容を点検している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>できることを多く取り入れ、無理強いせず、利用者一人ひとりが役割を持てるように支援している。また、気分転換や楽しみごとを日々の生活の中で、増やしていけるように工夫をするとともに感謝の言葉掛けをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日常的に天候や体調に配慮しながら、その日の希望に沿って、散歩・ドライブ・喫茶・買い物等に出かけている。また、ボランティア等の協力を得て、季節の花見や催し等の外出支援を行っている。</p>	<p>散歩を習慣とする利用者は少ないものの、利用者の希望に応じて買い物や喫茶店に出かけている。また、気分転換や外気に触れるため、花見やドライブなど、外出の機会を設け、支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族からお金を預かり事務所で管理している。散歩がてらに自動販売機で好みの飲み物を自ら買ったり、量販店で日用品を購入する時は、見守り支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望に応じて、電話をかけるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関先に鉢植えを置き、玄関や食卓に生け花を活け。リビングの壁飾りにも季節感を感じていただけるようにしている。利用者の好む音楽をかけ、ゆったりとした居心地よい場の提供をしている。浴室やトイレは、利用者にとって不快感のないよう常に清潔保持に努めている。</p>	<p>居間兼食堂に、ゆったりしたソファや安全面に配慮したテーブル、椅子を置き、ゆっくりくつろげる和室もあり、室内はきちんと整理されている。生け花や季節感のある飾りつけやBGMなど、和やかな雰囲気づくりに配慮している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>話が弾むように仲のよい利用者が隣同士になっているが、共用空間が手狭なため1人で過ごせるスペースは設けていない。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は家族の協力を得て、写真や本人の好む物で飾ったり、自宅にあったものや愛用していた物を置いて、安心して落ち着ける空間作りをしている。</p>	<p>好きな歌手の写真を貼ったり、利用者が愛用していた物を置くななど、家庭生活と変わらない居室づくりに配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の生活の導線上には、ほぼ段差はなくバリアフリーの状態であり安全の確保を図っている。また、シンク、調理台やテーブルは利用者に適した高さに配慮し、居室やトイレの所在等の表示をし、一人ひとりに合わせた環境作りを心がけている。</p>		

V アウトカム項目			
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない



項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない